# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

#### LEXSEE JP-A 1166161

COPYRIGHT: (C) 1989, JPO & Japio

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

01166161

#### GET EXEMPLARY DRAWING

June 30, 1989

#### MUTUAL MONITORING SYSTEM FOR MULTIPROCESSOR SYSTEM

INVENTOR: YAMAZAKI YOSHIKI

APPL-NO: 62326137 (JP 87326137)

FILED: December 22, 1987

ASSIGNEE: FUJITSU LTD

INT-CL: G06F15/16, (Section G, Class 06, Sub-class F, Group 15, Sub-group 16); G06F11/30, (Section G, Class 06, Sub-class F, Group 11, Sub-group 30)

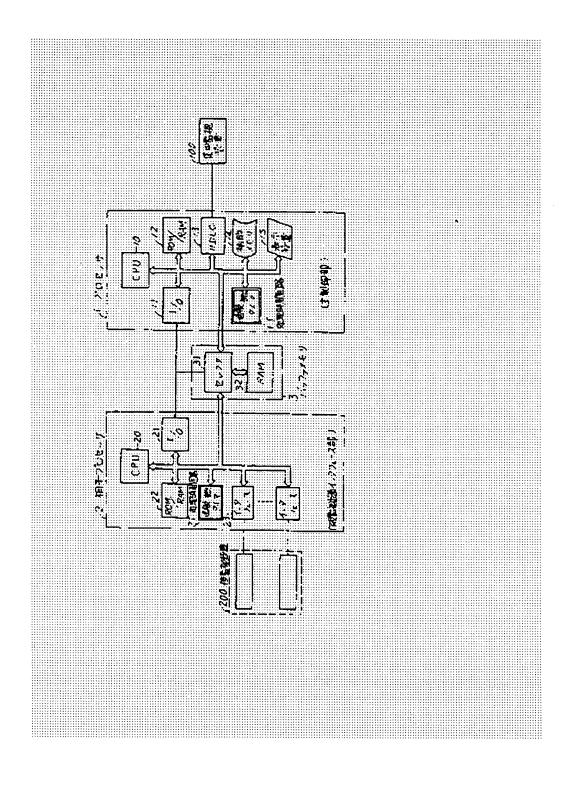
#### ABST:

PURPOSE: To enable the abnormality of a processor to be mutually and quickly detected by monitoring the operation of the partner processor with the aid of the detection output of the processing time detection circuit of the own processor in the multiprocessor system of distributed processing.

CONSTITUTION: The own processor 1 issues the processing demand of data to the partner processor 2. The processor 2 receives the processing demand of the data from the processor 1, processes the data and outputs it to a buffer memory 3. The buffer memory 3 temporarily stores the data processed by the processor 2 and outputs it to the processor 1 issuing the processing demand. The processing time generation circuit 2T of the processor 2 generates time T required for processing the processing demand from the processor 1. The processing time detection circuit 1T of the processor 1 inputs the processing time generated by the circuit 2T through the buffer memory 3, and compares by regarding the processing time T as a reference and detects.

LOAD-DATE: June 17, 1999

<u>Tips</u>



# @ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-166161

@Int\_Cl\_1

識別記号 4 6 0 庁内整理番号

匈公開 平成1年(1989)6月30日

G 06 F 15/16 11/30

16 20 T-6745-5B F-7343-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

図発明の名称 マルチプロセツサシステムの相互監視方式

②特 願 昭62-326137

②出 頤 昭62(1987)12月22日

⑫発 明 者 山 崎 義

義樹

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

内

卯出 願 人 富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

邓代 理 人 弁理士 井桁 貞一

#### 明細書

#### 1.発明の名称

マルチプロセッサシステムの相互監視方式

#### 2.特許請求の範囲

複数のプロセッサ(1,2) の一つの自プロセッサ(1) が相手プロセッサ(2) に処理要求を発し処理 結果を相手プロセッサ(2) からバッファメモリ( 3) を介して受取るマルチプロセッサシステムに おいて、

該相手プロセッサ(2) が自プロセッサ(1) からの処理要求を受けて処理に必要な時間 (T)を発生(2T) して自プロセッサ(1) に送出し、

該自プロセッサ(1) が相手プロセッサ(2) の処理完了時間を検出し自プロセッサ(1)が相手プロセッサ(2) から受取った時間(T) を基準にして相手プロセッサ(2) の動作を監視することを特徴としたマルチプロセッサシステムの相互監視方式。

#### 3. 発明の詳細な説明

#### (概要)

複数のプロセッサの一つの自プロセッサが相手プロセッサに処理要求を発し処理結果を相手プロセッサからバッファメモリを介して受取る分散処理のマルチプロセッサンステムの相互監視方式に関し、

該相互監視方式の監視に要する時間の短縮を目的 とし、

相手プロセッサが自プロセッサからの処理要求を受けて処理に必要な時間『を発生して自プロセッサに送出し、自プロセッサが相手プロセッサの処理完了時間を検出することにより自プロセッサが相手プロセッサから受取った時間』を基準にして相手プロセッサの動作を監視する構成としたものである。

#### (産業上の利用分野)

本発明は、複数のプロセッサを用いてジョプを 分散して処理する分散処理システムに関するもの で、複数のプロセッサのそれぞれのプロセッサの 陸客は全体のシステムグウンを引き起こすので、各プロセッサの誤動作は素早く検出し復旧することが重要である。本発明は一つのプロセッサが相手プロセッサの処理動作を監視する相互監視が短時間で確実に行えることを目的とする。

#### (従来の技術)

従来のマルチプロセッサシステムの構成を第3 図に示す。第3 図の従来例は、第1 プロセッサ10 A と第2 プロセッサ20A がバッファメモリ3Aを介 して処理データを送受信し、入出力装置のI/O 11 A と I/O 21Aにより一方のプロセッサ10A が他方 のプロセッサ20A に対して処理依頼を行い、プロセッサ20A がそのROM/RAM 22A を用いてインタフェース23A により被監視装置とのデータを処理してその処理結果をバッファメモリ3Aに一時記憶されたプロセッサ20A の処理結果を一定時間内に受け取ることで、他方のプロセッサ20A が正常動作をしていることを認識してい

監視する本発明の構成によって解決される。

本発明のマルチプロセッサシステムの相互監視 方式の構成を示す第1図の原理図において、

1は、ジョブを分散処理する複数のプロセッサの 一つのプロセッサであって、相手プロセッサに処 理要求を発する自プロセッサ、

2は、自プロセッサ1 からの処理要求を受けて処理する相手プロセッサ、

3は、相手プロセッサ2の処理した処理データを 一時記憶して、処理要求を発した自プロセッサ1 へ出力するパッファメモリ、

21 は、自プロセッサ1 からの処理要求を処理するのに必要な処理時間『を発生する相手プロセッサ2 の処理時間発生回路、

17 は、処理時間発生回路2Tの発生した処理時間 T を基準として比較し検出する自プロセッサ1 の 処理時間検出回路であって、

自プロセッサ1 の処理時間検出回路1Tの検出出力により、相手プロセッサ2 の動作を監視する構成とする。

る.

#### (発明が解決しようとする問題点)

上記の従来のマルチプロセッサシステムの相互 監視は、処理要求を受けたプロセッサ20Aが、そ の負荷状態により応答する時間が色々になるので、 処理要求を発したプロセッサ10Aが相手プロセッ サ20Aの動作状態を誤認識しないように十分に監 視時間を長くとることになり、相手プロセッサ20 Aの誤動作を検出する検出時間が長くなってしま うという問題がある。

#### (問題点を解決するための手段)

上記の問題点は、処理要求を受けた相手プロセッサ2が、先ず自分の処理すべき負荷を判断してその処理要求に対する必要な処理時間7を処理要求を発した自プロセッサ1に対し応答し、処理要求を発した自プロセッサ1は、相手プロセッサ2から知らされた時間7を用いて処理時間を検出し相手プロセッサ2が正常動作をしているか否かを

#### (作用)

自プロセッサ1 は、ジョブを分散処理する複数 のプロセッサの一つのプロセッサであって、相手 プロセッサ2 に処理要求を発する。

相手プロセッサ2 は、自プロセッサ1 からの処理要求を受けて処理してバッファメモリ3 へ出力する。

バッファメモリ3 は、相手プロセッサ2 の処理 した処理データを一時記憶して、処理要求を発し たプロセッサ1 へ出力する。

相手プロセッサ2の処理時間発生回路21は、自プロセッサ1からの処理要求を処理するのに必要な処理時間でを発生し、自プロセッサ1の処理時間検出回路17は、処理時間発生回路21の発生した処理時間でをバッファメモリ3を介して入力し、該処理時間でを基準として比較し検出する。

本発明のマルチプロセッサシステムの相互監視 方式は、相手プロセッサ2 の設定した処理時間で を基準とし自プロセッサ1 の処理時間検出回路1で の検出出力により、相手プロセッサ2の動作の正常か否かを監視するので、監視時間は相手プロセッサ2の設定した一定時間Tだけで済み自プロセッサ1の相手プロセッサ2に対する監視時間が長くなることはなくなり問題は解決される。

#### (実施例)

第2 図は本発明の実施例のマルチプロセッサシステムの相互監視方式の構成を示すプロック図であって、第2 図の自プロセッサ1 は、CPU 10, I/0 11, ROM/RAM 12, HDLC 13,補助メモリ14. 表示装置15から構成され、処理時間検出回路ITはタイマから構成され、自プロセッサ1 と処理時間検出回路1Tが主制御部を形成して、集中監視装置100と被監視装置200 との間の制御を行う。

相手プロセッサ2 は、CPU 20. I/O 21. ROM/RAM 22. インタフェース23から構成され、処理時間発生回路2Tはタイマから構成され、相手プロセッサ 2 と処理時間発生回路2Tとが被監視装置インタフェース部を形成してインタフェース23が被監視装

おり、相手プロセッサ2の異常動作を素早く検出し自動的に異常プロセッサを初期化して正常動作に戻す。従って、自プロセッサ1の主制御部と相.手プロセッサ2の被監視装置インタフェース部は、最小の監視時間で相互の監視が可能なので問題が無い。

#### (発明の効果)

以上説明した如く、本発明によれば、分散処理 のマルチプロセッサシステムにおいて、個々のプロセッサの異常を相互に素早く検出できるので、 システムの稼動率を上げ信頼性を向上する効果が 得られる。

#### 4.図面の簡単な説明

第1 図は本発明のマルチプロセッサシステムの 相互監視方式の構成を示す原理図、

第2 図は本発明の実施例のマルチプロセッサシステムの相互監視方式の構成を示すプロック図、

第3 図は従来のマルチプロセッサシステムの構

図200 に対し1 個づつ用意され、夫々の被監視装置にアクセスし監視情報を収集する機能と対象の被監視装置に対し制御情報や設定情報を転送している。

自プロセッサ1 と処理時間検出回路1Tの形成する主制御部は、相手プロセッサ2 と処理時間発生回路2Tの形成する被監視装置インタフェース部の各インタフェース23からの監視情報の管理表示および上位の集中監視装置100 への送信を行う。また、集中監視装置100 や表示操作盤15からの制御情報および設定情報を各インタフェース23へ転送する機能を有する。

本実施例のマルチプロセッサシステムの相互監視方式は、自プロセッサ1の主制御部と相手プロセッサ2の被監視装置インタフェース部が、相互の処理要求に対し、要求された相手プロセッサ2が自分の処理時間でを発生して、処理要求したすでロセッサ1に送り、処理要求をした自プロセッサ1が相手プロセッサ2の設定した時間でを基準にしてその処理時間を検出するという方法を採って

成を示すプロック図である.

図において、

1はプロセッサ、

2は相手プロセッサ、

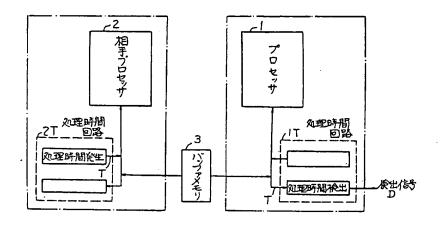
3はパッファメモリ、

11 はプロセッサ1 の処理時間検出回路、

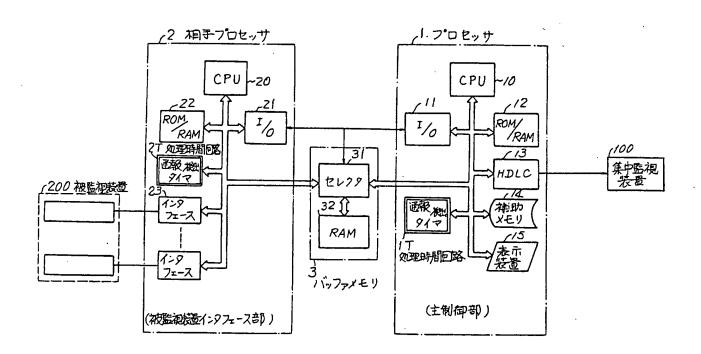
21 は相手プロセッサ2 の処理時間発生回路である。

代理人 弁理士 井桁貞一



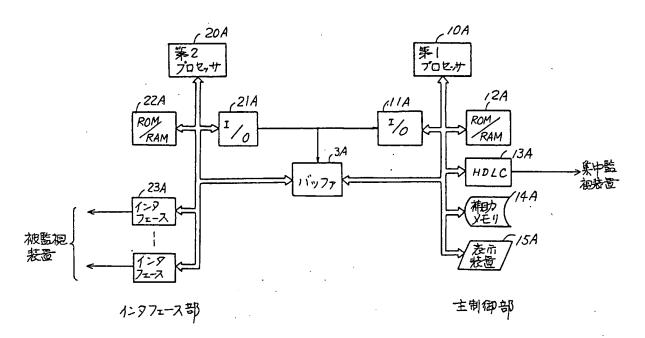


年後明のマルチプロセッサシステムの相互監視方式の構成を示す歴史図 新 1 図



不得用の実施例のマルチプロセッサシステムの相互監視方式の構成を示すブロック ②

**第 2 図** 



従来のマルチプロセッサシステムの構成を示すプロック図 第 3 図

#### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 11066161 A

(43) Date of publication of application: 09 . 03 . 99

(51) Int. CI

G06F 17/60 G06F 13/00

(21) Application number: 09220553

(22) Date of filing: 15 . 08 . 97

(71) Applicant:

**RIKURUUTO:KK** 

(72) Inventor:

MIMAKI YOSHIAKI UENO NORIYUKI DOBASHI YUJIRO YOSHIDA KATSUMI WATASE ICHIRO MAKIGUCHI TAISUKE

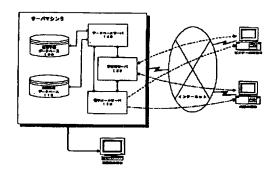
# (54) INFORMATION SERVICE SYSTEM THROUGH INTERNET WWW

#### (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an information service system capable of providing information provided by the mechanism of the Internet WWW in an easy-to-use style.

SOLUTION: This information service system S provides information stored in a data base 110 for visitors by the mechanism of the Internet WWW. On the basis of the operation history of retrieval browsing by the visitors, entry information of the visitors, and their object provided information, information use book files by the visitors are generated and provided for the visitors. When the contents of an information use book file are rewritten, the information use book file is updated by rewriting other information items relating to the update contents at need. When information use book file relating to the updated, an information use book file relating to the updated information is retrieved to rewrite the contents of the information use book file.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平11-66161

(43)公開日 平成11年(1999)3月9日

(51) Int.Cl.6

酸別記号

FΙ

G06F 17/60

13/00

355

G06F 15/21

13/00

355

審査請求 有 請求項の数16 OL (全 27 頁)

(21)出願番号

特願平9-220553

(22)出願日

平成9年(1997)8月15日

(71)出願人 000139012

株式会社リクルート

東京都中央区銀座8丁目4番17号

(72)発明者 三牧 義明

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ

クルート内

(72)発明者 上野 典行

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ

クルート内

(72)発明者 土橋 裕次郎

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ

クルート内

(74)代理人 弁理士 一色 健輔 (外2名)

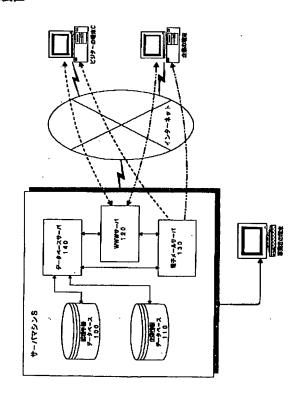
最終頁に続く

#### (54) 【発明の名称】 インターネットWWWによる情報サービス装置

#### (57)【要約】

【課題】 インターネットWWWの仕組みで提供される 情報を利用しやすい形で提供する情報サービス装置を提 供する。

【解決手段】 情報サービス装置Sはデータベース11 0の蓄積情報をインターネットWWWの仕組みによりビ ジターに提供する。ビジターの検索閲覧の操作履歴、ビ ジターの記入情報、およびこれらの対象となった提供情 報とに基づいてデータベース100に各ビジターごとの 情報活用帳ファイルを作成しビジターに提供する。情報 活用帳ファイルの内容が書き換えられた場合、その更新 内容に関連した別の情報項目を必要に応じて書き換える ことで当該情報活用帳ファイルを更新する。また、デー タベース110の蓄積情報が更新された場合、その更新 情報に関連した情報活用帳ファイルを検索し、情報活用 帳ファイルの内容を書き換える。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットWWWによる情報サービス装置であって、次の各要件を備える。

(1) インターネットWWWの仕組みに従って、データベースの蓄積情報をアクセスしてくるビジターに対して検索閲覧させる。ビジターに提供する情報は文書画像の形式でディスプレイに表示され、この情報には多岐にわたる他の情報が相互にリンクしている。ビジターに提供した文書画像の記入欄からビジターが記入した情報(ビジター記入情報)を取得する。

(2) ビジターが行った前記データベース検索閲覧の操作履歴と、前記ビジター記入情報と、これらの対象となった提供情報とに基づいて、所要の情報項目のデータ集合からなる情報活用帳ファイルを作成する。この情報活用帳ファイルは各ビジターごとに作成し、ビジターIDをキーとして蓄積する。情報活用帳ファイルは、該当のビジターからの要求に応じてそのビジターに提供し、ビジターのディスプレイ上に文書画像の形式で表示される。

(3) ビジターに提供した情報活用帳ファイルの内容が ビジターによって書き換えられた(追加・更新・削除) 場合には、その書き換えられた内容を取得して、この内 容に関連する当該情報活用帳ファイルの情報項目を必要 に応じて書き換える。

(4) 前記データベースの蓄積情報が書き換えられた (追加・更新・削除)場合、必要に応じて適時に情報活 用帳ファイルの内容を直接的または間接的に書き換え る。

【請求項2】 請求項1における(1)と(2)と

(3) の各要件を備えてなることを特徴とするインター 30 ネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項3】 請求項1における(1)と(2)と

(4)の各要件を備えてなることを特徴とするインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項4】 個々のビジター宛に送られてきた電子メールを前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項1~3のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項5】 ビジターが電子メールを送信した場合に その事象を当該ビジターの前記情報活用帳ファイルに整 40 理して管理する機能を有することを特徴とする請求項1 ~4のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項6】 個々のビジター宛に送られてきたメッセージ情報を当該ビジターの前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項1~5のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項7】 個々のビジターがメッセージ情報を送信 した場合にその事象を当該ビジターの前記情報活用帳フ 50 ァイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項1~6のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項8】 個々のビジターが任意に指定した前記データベースの検索条件を前記情報活用帳ファイルに管理するとともにビジターがこれら登録された検索条件を用いて前記データベースを検索する機能を備えることを特徴とする請求項1~7のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

10 【請求項9】 インターネットWWWによる就職情報サービス装置であって、次の各要件を備える。

(1) インターネットWWWの仕組みに従って、企業情報データベースに格納される募集職種・採用条件・企業説明会の日程などの企業情報をアクセスしてくる学生や転職希望者等の求職者に対して検索閲覧させる。求職者に提供する企業情報は文書画像の形式でディスプレイに表示され、この企業情報には多岐にわたる他の情報が相互にリンクしている。求職者に提供した文書画像の記入欄から求職者が記入した交渉推進に係わる情報を取得する。

(2) 求職者が行った前記企業情報データベース検索閲覧の操作履歴と、前記交渉推進に係わる情報と、これらの対象となった前記企業情報データベースの提供情報とに基づいて、交渉推進に係わる各種情報項目のデータ集合からなる就職手帳ファイルを作成する。この就職手帳ファイルは各求職者ごとに作成し、求職者ごとのIDをキーとして蓄積する。就職手帳ファイルは、該当の求職者からの要求に応じてその求職者に提供し、求職者のディスプレイ上に文書画像の形式で表示される。

(3) 求職者に提供した就職手帳ファイルの内容が求職者によって書き換えられた(追加・更新・削除)場合には、その書き換えられた内容を取得して、この内容に関連する当該就職手帳ファイルの情報項目を必要に応じて書き換える。

(4) 前記企業情報データベースの企業情報が書き換えられた(追加・更新・削除)場合、必要に応じて適時に 就職手帳ファイルの内容を直接的または間接的に書き換える。

【請求項10】 請求項9における(1)と(2)と(3)の各要件を備えてなることを特徴とするインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項11】 請求項9における(1)と(2)と (4)の各要件を備えてなることを特徴とするインター ネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項12】 個々の求職者宛に送られてきた電子メールを当該求職者の前記就職手帳ファイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項9~11のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項13】 求職者が電子メールを送信した場合に

その事象を当該求職者の前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項9~12のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項14】 個々の求職者宛に送られてきたメッセージ情報を当該求職者の前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項9~13のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項15】 求職者がメッセージ情報を送信した場合にその事象を当該求職者の前記就職手帳ファイルに整理して管理する機能を有することを特徴とする請求項9~14のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

【請求項16】 個々の求職者が任意に指定した前記企業情報データベースの検索条件を前記就職手帳ファイルに管理するとともに求職者がこれら登録された検索条件を用いて前記企業情報データベースを検索する機能を備えることを特徴とする請求項9~15のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、インターネット WWWによる情報サービス装置に関し、インターネット WWWで提供される情報をこれにアクセスしてくるビジ ターごとに利用しやすい形で提供する技術に関する。

#### [0002]

【従来の技術】インターネットの商用利用が解禁になって以来、WWW技術を用いた様々なサービスが登場した。中でも就職情報・旅行情報等を提供するいわゆる情 30 報誌業界は、不特定多数の者に移り変わりの早い情報を迅速に提供することができるというインターネットの特性にいち早く注目し、利用価値の高い充実した内容の様々なサービスを展開してきた。

【0003】ところで、これらの情報サービスは次のような検索機能を基本として実施されているのが普通である。まず、サービスを利用しようとするビジターの端末からの要求に応じてWWWサーバは端末に対して検索条件記入画面を送信する。次に、ビジターによって検索条件が記入された画面が端末からサーバ側に返送される。WWWサーバではこの検索条件に合致するデータをデータベースから検索する。検索が終了するとWWWサーバは検索結果を記載した画面を作成し、これをビジターの端末に向けて送信する。

【0004】さらに最近のこの種の情報サービスは、検索結果画面から企業に対して資料請求や説明会の予約等を行えるようにした就職情報サービスや検索結果画面からチケットの予約ができるようにした旅行情報サービスのように、サービスを利用しながらビジターが直接何らかのアクションを起こせるようになっている。

#### [0005]

【発明が解決しようとする課題】ところで、この種の情報サービスはデータベースに掲載されている情報を大ざっぱにつかみたい場合、例えば、就職情報サービスを用い、「商社」で人材を募集している企業はどんな所があるのか調べたい場合や、旅行情報サービスを用いてどんなツアーが企画されているのか大ざっぱに知りたい場合には便利である。

4

【0006】しかしながら、例えば就職情報サービスにおいて特定の条件に当てはまる企業が新たに募集活動を開始したことや企業の採用条件が変わってその条件が求職者の求める待遇に該当するようになったこと、また、旅行情報サービスにおいてビジターの求める条件に該当するツアーが新設されたことなど、特定の条件に当てはまる情報が更新されたり追加されたりしたことを調べたい場合に、この種の情報サービスはあまり向いているとは言えない。もしこのような目的でこの種のサービスを用いると、気になる情報を全て検索してまわることになるであろう。

20 【0007】さらに、この種のサービスは企業に対して 行った資料請求や説明会の予約、切符の予約等のアクションの履歴が管理されない。したがって、例えば長時間 かけて大量の情報を検索しその間に多数のアクションを 行いたい場合には、自分の行ったアクションを忘れてし まわないようにアクションの履歴をいちいちノート等に 書き留めておかなければならない。

【0008】本発明はこのような事情に鑑みてなされたものであって、その目的は、インターネットWWWで提供される情報の中から各ビジターに必要な情報を集約するとともに適宜にこれらの情報を更新して管理し、また、ビジターが行った様々なアクションの履歴を自動的に記録し、これらの情報をビジターの利用しやすい形で提供する情報サービス装置を提供することにある。

#### [0009]

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため、本発明のうち請求項1に係わる発明はインターネットWWWによる情報サービス装置であって、次の各要件を備える構成とした。

【0010】(1) インターネットWWWの仕組みに従って、データベースの蓄積情報をアクセスしてくるビジターに対して検索閲覧させる。ビジターに提供する情報は文書画像の形式でディスプレイに表示され、この情報には多岐にわたる他の情報が相互にリンクしている。ビジターに提供した文書画像の記入欄からビジターが記入した情報(ビジター記入情報)を取得する。

【0011】(2) ビジターが行った前記データベース 検索閲覧の操作履歴と、前記ビジター記入情報と、これ らの対象となった提供情報とに基づいて、所要の情報項 目のデータ集合からなる情報活用帳ファイルを作成す る。この情報活用帳ファイルは各ビジターごとに作成

50

5

し、ビジター I Dをキーとして蓄積する。情報活用帳ファイルは、該当のビジターからの要求に応じてそのビジターに提供し、ビジターのディスプレイ上に文書画像の形式で表示される。

【0012】(3) ビジターに提供した情報活用帳ファイルの内容がビジターによって書き換えられた(追加・ 更新・削除)場合には、その書き換えられた内容を取得 して、この内容に関連する当該情報活用帳ファイルの情 報項目を必要に応じて書き換える。

【0013】(4)前記データベースの蓄積情報が書き換えられた(追加・更新・削除)場合、必要に応じて適時に情報活用帳ファイルの内容を直接的または間接的に書き換える。

【0014】このような構成とすれば、個々のビジターにとって必要な情報がビジターごとに情報活用帳の形に集約されて管理されるため、特定の条件に当てはまる情報が更新されたり追加されたりしたことを容易に把握することができる。また、ビジターが行った操作履歴も情報活用帳に自動的に整理されるため、これらの履歴をいちいちノートに書き留めたりしておく必要もない。

【0015】また、本発明のうち請求項2に係わる発明は、インターネットWWWによる情報サービス装置であって、請求項1おける(1)と(2)と(3)の各要件を備えてなることとした。

【0016】また、本発明のうち請求項3に係わる発明は、インターネットWWWによる情報サービス装置であって、請求項1における(1)と(2)と(4)の各要件を備えてなることとした。

【0017】また、本発明のうち請求項4に係わる発明では、前記請求項1~3のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置が、個々のビジター宛に送られてきた電子メールを前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することとした。

【0018】また、本発明のうち請求項5に係わる発明では、前記請求項1~4のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置が、ビジターが電子メールを送信した場合にその事象を当該ビジターの前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することとした。

【0019】また、本発明のうち請求項6に係わる発明 40 では、前記請求項1~5のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置が、個々のビジター宛に送られてきたメッセージ情報を当該ビジターの前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することとした。

【0020】また、本発明のうち請求項7に係わる発明では、前記請求項1~6のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置が、個々のビジターがメッセージ情報を送信した場合にその事象を当該ビジターの前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能 50

を有することとした。

【0021】また、本発明のうち請求項8に係わる発明では、前記請求項1~7のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置が、個々のビジターが任意に指定した前記データベースの検索条件を前記情報活用帳ファイルに管理するとともにビジターがこれら登録された検索条件を用いて前記データベースを検索する機能を備えることとした。これにより、再度同じような検索条件で検索する場合の労力が著く軽減される。

10 【0022】また、 本発明における請求項9に係る発明はインターネットWWWによる情報サービス装置であって、次の各要件を備える構成とした。

【0023】(1) インターネットWWWの仕組みに従って、企業情報データベースに格納される募集職種・採用条件・企業説明会の日程などの企業情報をアクセスしてくる学生や転職希望者等の求職者に対して検索閲覧させる。求職者に提供する企業情報は文書画像の形式でディスプレイに表示され、この企業情報には多岐にわたる他の情報が相互にリンクしている。求職者に提供した文書画像の記入欄から求職者が記入した交渉推進に係わる情報を取得する。

【0024】(2) 求職者が行った前記企業情報データベース検索閲覧の操作履歴と、前記交渉推進に係わる情報と、これらの対象となった前記企業情報データベースの提供情報とに基づいて、交渉推進に係わる各種情報項目のデータ集合からなる就職手帳ファイルを作成する。この就職手帳ファイルは各求職者ごとに作成し、求職者ごとのIDをキーとして蓄積する。就職手帳ファイルは、該当の求職者からの要求に応じてその求職者に提供し、求職者のディスプレイ上に文書画像の形式で表示される。

【0025】(3) 求職者に提供した就職手帳ファイルの内容が求職者によって書き換えられた(追加・更新・削除)場合には、その書き換えられた内容を取得して、この内容に関連する当該就職手帳ファイルの情報項目を必要に応じて書き換える。

【0026】(4) 前記企業情報データベースの企業情報が書き換えられた(追加・更新・削除)場合、必要に応じて適時に就職手帳ファイルの内容を直接的または間接的に書き換える。

【0027】また、本発明のうち請求項10に係わる発明は、インターネットWWWによる情報サービス装置であって、請求項9における(1)と(2)と(3)の各要件を備えてなることとした。

【0028】また、本発明のうち請求項11に係わる発明は、インターネットWWWによる情報サービス装置であって、請求項9における(1)と(2)と(4)の各要件を備えてなることとした。

【0029】また、本発明のうち請求項12に係わる発明は、前記請求項9~11のいずれかに記載のインター

ネットWWWによる情報サービス装置であって、個々の 求職者宛に送られてきた電子メールを当該求職者の前記 就職手帳ファイルに整理して管理する機能を有すること とした。

【0030】また、本発明のうち請求項13に係わる発明は、前記請求項9~12のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置であって、求職者が電子メールを送信した場合にその事象を当該求職者の前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することとした。

【0031】また、本発明のうち請求項14に係わる発明は、前記請求項9~13のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置であって、個々の求職者宛に送られてきたメッセージ情報を当該求職者の前記情報活用帳ファイルに整理して管理する機能を有することとした。

【0032】また、本発明のうち請求項15に係わる発明は、前記請求項9~14のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置であって、求職者がメッセージ情報を送信した場合にその事象を当該求職 20者の前記就職手帳ファイルに整理して管理する機能を有することとした。

【0033】また、本発明のうち請求項16に係わる発明は、前記請求項9~15のいずれかに記載のインターネットWWWによる情報サービス装置であって、個々の求職者が任意に指定した前記企業情報データベースの検索条件を前記就職手帳ファイルに管理するとともに求職者がこれら登録された検索条件を用いて前記企業情報データベースを検索する機能を備えることとした。

[0034]

【発明の実施の形態】

===用語の説明===

ここでは以下の実施例の説明で使用する用語につき説明する。

【0035】「事業者」…事業者は、この発明の情報サービス装置を運営する企業である。

【0036】「ビジター」…ビジターは、情報サービス 装置にアクセスしてくる訪問者であり、例えば転職希望 者や来年度の就職を予定している学生である。

【0037】「参画企業」…参画企業は、事業者と契約 40 して情報サービス装置の利用を許可されている企業である。自社の概要・募集職種・採用条件等の企業情報を後述する企業情報データベース110に登録している企業のことである。

【0038】「端末」…端末は、ビジターが操作するコンピュータもしくは参画企業の担当者が操作するコンピュータのことであり、インターネットに接続する。

【0039】「サーバマシンS」…サーバマシンSは、この発明の情報サービス装置として稼動するコンピュータであり、インターネットに接続する。

【0040】「就職手帳」…就職手帳は、前述した情報活用帳ファイルの具体例であり、利用申請登録を行った個々のビジターごとに提供される。個々の就職手帳には情報サービス装置により個々のビジターにとって有用な様々な情報が管理されている。個々のビジターは必要に応じて自分の就職手帳を参照したり編集したりすることができる。

【0041】「交渉メッセージ」…交渉メッセージとは、就職手帳を介してビジターと参画企業との間で取り交わされるメッセージ情報である。例えば、参画企業は自社の採用情報や説明会に関する情報を交渉メッセージとしてビジターに送る。

【0042】===基本的なシステム構成===

(1) 情報サービス装置において稼動するデータベース 情報サービス装置では以下のデータベースが稼動する。

【0043】「就職手帳データベース」…就職手帳を格納しているデータベースである。就職手帳は利用者 ID をキーとして格納されている。

【0044】「企業情報データベース」…各参画企業の 募集職種や採用条件、企業説明会の日程等の企業情報が 企業ごとに割り当てられる企業IDをキーとして格納さ れている。企業情報データベースの内容は事業者によっ て管理される。また、参画企業は自社の企業情報を適宜 編集することができる。

【0045】(2)システムの基本的な処理の流れ図1はこの発明のサーバマシンSを中心としたシステム構成を示している。

【0046】端末からの要求に応じ、サーバマシンSにてHTMLタイプの画面情報が生成され、インターネットのWWWの仕組みで画面情報がビジターの端末Cに送達される。端末側ではその画像情報に所要の情報を記入する。記入された画像情報は端末からサーバマシンSに送られる。

【0047】サーバマシンSは就職手帳データベース100もしくは企業情報データベース110の内容を適宜参照する。また、必要に応じてこれらの内容を変更する

【0048】サーバマシンSは、WWWサーバ120、電子メールサーバ130、データベースサーバ140により構成される。

【0049】尚、当然のことながら、サーバマシンSは一台のコンピュータに各サーバやデータベースなどの全ての機能を持たせて構成するようにしてもよいし、各機能をネットワークで結合された複数台のコンピュータに分散して配置するようにしてこれら複数台のコンピュータの集合によって全体構成するようにしてもよい。

【0050】====就職手帳の利用申請=== 就職手帳は事前に利用申請を済ませておかなければ利用 することがきない。利用申請はインターネット上で行 う。まず、ビジターは自分の端末Cをインターネットに

30

10

接続しサーバマシンSのURLを送信して図2に示すホームページ(表紙画面)を取り寄せる。このページの「就職手帳利用申請」の部分をクリックするとサーバマシンSからビジターの端末Cに利用申請画面が送られてくる。

【0051】利用申請画面は多数のページで全体構成されており、就職手帳の仕組みを説明する案内画面から始まり、名前・住所・現職(学生の場合は所属する学校名)・電話番号・電子メールアドレス等の個人を特定する個人情報や、職務経験・資格・語学力・技術スキル等の求職に直接関連した求職情報等の多岐にわたる画面が次々と現れる。

【0052】利用申請画面に所要事項と利用者ID・パスワードを記入しこの画面下部に設けられた「登録」ボタンをクリックしてこれを端末CからサーバマシンSに向けて送信する。サーバマシンSは送られてきた利用申請画面の記入内容をチェックし、問題が無いと判断した場合には当該ビジターを正式な利用者として認定する。

サーバマシンSは、正式な利用者として認定したビジターには電子メールにより確認キーを発行してこれをサーバマシンS内に記録しておくとともに確認キーを記載した本人確認通知を電子メール経由でビジターに送信する。サーバマシンSは、利用者が申請後初めて利用者ID・パスワードを入力してきた場合にこの確認キーの入力を要求し、記録しておいた確認キーと照合して利用者の正当性を確認する。

【0053】また、サーバマシンSは就職手帳データベース100にこの利用者IDをキーとした情報活用帳ファイルを作成し、さらに、この情報活用帳ファイルに利用申請画面に記入されていたビジターの個人情報および求職情報を初期値として書き込む。

【0054】===企業情報データベース110の検索 閲覧と、各種情報の就職手帳への記入===

(1)企業情報データベース110の検索 前述した図2のホームページにおいて「企業検索 MU LTI INDEX」の部分をクリックするとサーバマ シンSからビジターの端末Cに企業情報検索画面(図 3、図4、図5)が送られてくる。

【0055】企業情報検索画面は多数のページで全体構成されており、システムの仕組みを説明する案内画面か 40 ら始まり、会社のPRポイント・事業分野・本社所在地・募集実績学科・事業内容のキーワード検索といった多岐にわたる検索条件の入力欄が設けられている。

【0056】ビジターは所要事項を記入し検索開始ボタンをクリックして企業情報検索画面を端末CからサーバマシンSに送信する。サーバマシンSは企業情報検索画面の記入内容に基づいて企業情報データベース110を検索し、検索結果を企業一覧画面(図6)にまとめてこれをビジターの端末Cに返信する。

【0057】ビジターが企業一覧画面に記載されている 50 ステムから行うことができる(もちろん説明会の参加予

企業名の内の一つを選んでクリックすると、サーバマシンSは企業情報データベース110に登録されている当該企業の企業情報を記載した企業情報画面(図7)を作成し、ビジターの端末Cに返信する。

【0058】 (2) 検索条件の予約登録機能

企業一覧画面(図6)には今回指定した検索条件を就職手帳に登録するかどうかを選択する「検索条件登録」ボタン(図示しない)が設けられている。ビジターがこのボタンをクリックすると、就職手帳の利用者 I Dおよびパスワードおよび検索条件名等の入力項目が記載された検索条件登録画面がサーバマシンSからビジターの端末 Cに送られてくる。ビジターはこの画面に利用者 I D・パスワード・検索条件名を入力する。ビジターが送信ボタンを押すとビジターの端末 Cから検索条件登録画面および今回指定した検索条件がサーバマシンSに送信される.

【0059】サーバマシンSは送られてきた検索条件登録画面に記載された利用者IDおよびパスワードを用いて就職手帳データベース100の中から該当する就職手帳を検索する。サーバマシンSは該当する就職手帳を見つけると、検索条件登録画面に指定された検索条件名で当該就職手帳に検索条件を登録する。

【0060】(3)自己PR情報の企業への通知 ビジターは自己PR情報を企業一覧画面(図6)から選 択した任意の企業に対して送信することができる(もち ろん自己PR情報を受け付けている企業に限る)。

【0061】企業一覧画面には各企業ごとにチェック欄が設けられており、自己PR情報を送信する場合には、まず、自己PR情報を通知したい企業のチェック欄を全てチェックする。次に、この画面上部に設けられた「一括送信用Eーmailフォーマット」ボタンをクリックしてサーバマシンSからアクセスフォーマット画面(図8、図9、図10)を取り寄せる。

【0062】ビジターは、このアクセスフォーマット画面に氏名、現住所、連絡先、学校名、学部、専攻分野、自己PR情報等の所要事項を書き込み、この画面下部に設けられた「アンケートを送信」ボタンをクリックしアクセスフォーマット画面をビジターの端末CからサーバマシンSに返送する。

0 【0063】サーバマシンSはビジターの端末Cから送られてきたアクセスフォーマット画面に記載された所要事項を電子メール等の手段により該当する企業に伝達する。

【0064】また、サーバマシンSは自己PR情報を送信したビジターが就職手帳の利用者であるかどうか調査し、利用者であった場合にはその企業に対して自己PR情報を送信した旨を当該就職手帳に記録する。

【0065】(4)説明会の参加予約

ビジターは企業が開催している説明会の参加予約を本シュテムから行うことができる (まちろん説明会の参加予

約受付を行っている企業に限る)。

【0066】この場合には、まず、企業情報画面(図7)において「説明会・エントリーデータ」の部分をクリックしてサーバマシンSからビジターの端末Cに説明会情報画面(図11、図12)を取り寄せる。説明会情報画面には当該企業の日程・会場・選考方法等が記載されている。

【0067】説明会の参加予約を行う場合には、説明会情報画面の「説明会予約フォーマットへ」の部分をクリックしてサーバマシンSからアクセスフォーマット画面(図8、図9、図10)を取り寄せる。ビジターは、このアクセスフォーマット画面に氏名、現住所、連絡先、学校名、学部、専攻分野、自己PR情報等の所要事項を記入する。就職手帳の利用者である場合にはさらに利用者ID・パスワードを記入する。所要事項の入力が終わればこの画面下部に設けられた「送信」ボタンをクリックし、この画面をビジターの端末CからサーバマシンSに返送する。

【0068】サーバマシンSはビジターの端末Cから送られてきたアクセスフォーマット画面から所要事項を抽 20出して電子メールを作成し該当する企業に向けて送信する。

【0069】また、サーバマシンSはこの際に就職手帳データベース100により説明会予約をしたビジターが就職手帳の利用者であるかどうか調査する。当該ビジターが就職手帳の利用者であった場合には、企業説明会の開催日等の必要情報とともにこの企業に対して説明会の予約を行った旨を当該就職手帳に記録する。

#### 【0070】(5)就職手帳への企業の登録

説明会情報画面(図11、図12)には当該企業を自分の就職手帳に登録するための機能が設けられている。登録により当該企業に関する情報を就職手帳から参照することができるようになるとともに当該企業に関する情報に更新や追加があった場合にはビジターに対して電子メールや交渉メッセージにより様々な通知が送られてくるようになる。

【0071】当該企業を自分の就職手帳に登録する場合には、まず説明会情報画面に設けられた「自分の志望企業一覧に追加」の部分をクリックし、サーバマシンSから就職手帳の利用者IDおよびパスワードを入力する認 40 証画面を取り寄せる。次に、この画面に正式な利用者IDおよびパスワードを入力して送信ボタンをクリックし認証画面をサーバマシンSに送信する。サーバマシンSは認証画面に記載された利用者IDおよびパスワードを用いて就職手帳データベース100の中から該当する就職手帳を検索する。サーバマシンSは該当する就職手帳を見つけると当該企業を就職手帳に登録する。

#### 【0072】===就職手帳の活用===

図2の画面において「就職手帳はこちら」の部分をクリ た「送信」ボタンックすると、ビジターの端末Cに就職手帳メニュー画面 50 ジが伝達される。

(図13) が送信されてくる。以下、就職手帳の活用方法につきこの就職手帳メニュー画面の各項目ごとに順に説明する。

12

【0073】(1)就職手帳に登録されている個人情報を変更する場合

就職手帳メニュー画面において、「登録しているあなたの個人情報を変更する」の部分をクリックするとビジターの端末Cに個人情報編集画面が送られてくる。

【0074】個人情報編集画面には、名前・住所・現職 (学生の場合は所属する学校名)・電話番号・電子メー ルアドレス等の個人を特定する個人情報や、職務経験・ 資格・語学力・技術スキル等の求職に直接関連した求職 情報等の多岐にわたる項目が設けられており、各項目に は現在の個人情報の登録内容が記入されている。この画 面に記載されている全ての情報は、サーバマシンSが個 人情報編集画面をビジターの端末Cに送る直前に当該ビ ジターの就職手帳を調査して得た最新の登録情報であ る。

【0075】現在の登録内容を変更する場合には、個人情報編集画面の該当する項目の内容を書き換えてから「更新」ボタンをクリックする。

【0076】(2)交渉メッセージの確認

就職手帳メニュー画面(図13)において、「あなたに届いた企業からのメッセージをみる」の部分をクリックするとサーバマシンSからビジターの端末Cに交渉メッセージ一覧画面(図14)が送られてくる。交渉メッセージ一覧画面には、交渉メッセージの受信日時・社名・交渉メッセージのタイトル・返信が必要かどうか・未読かどうかといった情報が各交渉メッセージごとに整理さ、30 れて記載されている。

【0077】この画面において社名の部分をクリックすると、その企業に該当する企業情報画面(図7)がサーバマシンSからビジターの端末Cに送られてくる。当然の事ながら、企業情報画面における全ての機能は前述と同様である。

【0078】また、この一覧表に掲載されているある交渉メッセージのタイトルの部分をクリックすると当該交渉メッセージの内容が記載された交渉メッセージ内容確認画面(図15)がサーバマシンSからビジターの端末 Cに送られてくる。この時、交渉メッセージが未読であった場合には、交渉メッセージ一覧画面(図14)の当該企業の未読欄が空白に置き換わる。

【0079】返信が必要な交渉メッセージの場合には交渉メッセージ内容確認画面から当該企業に向けて交渉メッセージを返信することができる。この場合にはまず、「返信ボタン」(図示せず)をクリックしてサーバマシンから交渉メッセージの作成画面(図示せず)を取り寄せる。ここにメッセージを記入して作成画面に設けられた「送信」ボタンを押すと、参画企業側に交渉メッセージが伝達される。

20

14

【0080】読み終わった交渉メッセージを一覧から削除したい場合には、削除したい交渉メッセージの左端にあるチェック欄をチェック(複数指定可)して一覧表の下部に設けられている削除ボタンをクリックする。

【0081】(3)就職手帳に登録しておいた企業の最 新情報を確認する場合

就職手帳メニュー画面(図13)において、「あなたの志望企業の最新情報を確認する」の部分をクリックすると、志望企業一覧画面(図16)がサーバマシンSからビジターの端末Cに送られてくる。この画面に記載されている企業は、説明会情報画面下部に設けられた「自分の志望企業一覧に追加」ボタンにより前述した方法で登録された企業である。

【0082】この画面には社名・当該企業情報を参照した最終日付・メールエントリーフォーマット使用可能かどうか(自己PR情報を受け付けるかどうか)・メールフォーマットでのアクセス済かどうか(自己PR情報を送信したかどうか)・説明会情報最新更新日(企業情報データベース110に掲載されている説明会情報の最終更新日)・メールフォーマットでの説明会申込(電子メールで説明会の参加申し込みを済ませたかどうか)といった情報が各企業ごとに一覧表に整理して記載されている。

【0083】この画面において社名の部分をクリックすると、企業情報データベース110に登録されている当該企業の企業情報を記載した企業情報画面(図7)がサーバマシンSから送られてくる。

【0084】また、説明会情報最終更新日の部分をクリックするとビジターの端末Cにその該当する会社のアクセスフォーマット画面(図8、図9、図10)がサーバ 30マシンSから送られてくる。当然のことながら、前述の手順と同様にしてこの画面から説明会の参加予約をすることができる。そして、新たな説明会の予約が行われると、サーバマシンSは志望企業一覧画面(図16)の「メールフォーマットでの説明会申込」の欄を更新する。

【0085】登録されている企業を一覧から削除したい場合には、その企業の左端にあるチェック欄をチェックし(複数指定可)、一覧表の下部に設けられている削除ボタンをクリックする。

【0086】(4)説明会の予約状況を確認する場合 就職手帳メニュー画面(図13)において、「説明会の 予約状況を確認する」の部分をクリックすると、説明会 の予約履歴の一覧が記載された説明会予約履歴画面(図 17)がビジターの端末Cに送られてくる。この画面に は企業毎に、企業説明会の開催日および曜日・社名・説 明会の説明(開始時間や開催場所等の情報)等の情報が 記載されている。

【0087】この画面において社名の部分をクリックすると、企業情報データベース110に登録されている当 50

該企業の企業情報を記載した企業情報画面(図7)がサ ーバマシンSから送られてくる。

【0088】登録されている企業を一覧から削除したい場合には、その企業の左端にあるチェック欄をチェックし(複数指定可)、一覧表の下部に設けられている削除ボタンをクリックする。

【0089】(5)予約登録しておいた検索条件の管理 と活用

就職手帳メニュー画面(図13)において、「予約している検索条件で検索する」の部分をクリックすると企業情報データベース110を検索した際に登録しておいた検索条件名の一覧が記載された検索条件予約一覧画面

(図18) がサーバマシンSからビジターの端末Cに送られてくる。この画面に記載されている全ての情報は、サーバマシンSが検索条件予約一覧画面をビジターの端末Cに送る直前に当該ビジターの就職手帳を調査して得た最新の登録情報である。

【0090】予約検索を実行する場合には、この検索条件予約一覧画面から実行したい検索条件を選んでその検索条件名の左側にあるチェック部をチェックし、さらに、この画面下部の「予約検索実行」ボタンをクリックする。検索条件名一覧の下部に設けられた検索オプションは企業情報データベース110を検索する際の検索対象となるデータを絞り込むためのもので、ここに日付を入力した場合には当該日付以降に企業情報データベース110に登録された企業情報のみが検索対象となる。

【0091】一方、予約しておいたある検索条件を一覧から削除したい場合には、検索条件予約一覧画面の削除したい検索条件名の左側に設けられたチェック欄をチェックし、さらに、この画面下部に設けられた「予約一覧からの削除」ボタンをクリックする。

【0092】また、この画面において、検索条件名の部分をクリックすると当該ビジターの就職手帳に記録されている当該検索条件の内容を記載した検索条件確認画面(図19)がサーバマシンSからビジターの端末Cに送られてくる。

【0093】===その他の応用===

(1) 電子メールの管理

ところで、就職手帳を利用しているビジターに対して説明会の参加者を募集したり、自社のPRをしようとする参画企業から電子メールが送られてくる場合がある。また、ビジターはこれらの電子メールに対して返信することもある。このような電子メールのやり取りの事象をサーバマシンSは逐一蓄積管理している。したがって、就職手帳にこれらの事象を整理して記載し、ビジターが電子メールでのやり取りの履歴を活用できるようにすることも容易に実施可能である。

【0094】(2) 就職手帳データベースの活用 前述した就職手帳データベース100はビジターにとっ ては就職手帳の格納場所として機能するが、事業者や参

画企業にとっては、ビジターの個人情報やビジターのリアルタイムな志向情報が自然に蓄積されていく画期的な情報収集システムとして機能する。

【0095】例えば、就職手帳データベース100を用いれば、参画企業は自社以外の企業を志向しているビジターの中から自社の採用条件を満たす者を選んで交渉メッセージ等を送付し、自社への注意を喚起するといったことが可能である。

【0096】また、就職手帳データベース100からビジターの志向を分析しその結果に応じて説明会案内など 10 る。の交渉メッセージの内容を変化させ、説明会への動員数を増やすといった戦略的な利用も可能である。 の\_

#### [0097]

【発明の効果】個々のビジターにとって必要な情報がビジターごとに情報活用帳の形に集約されて管理されるため、例えば就職情報サービスにおいて特定の条件に当てはまる企業が新たに募集活動を開始したことや企業の採用条件が変わってその条件が求職者の求める待遇に該当するようになったこと、また、旅行情報サービスにおいてビジターの求める条件に該当するツアーが新設された20ことなど、特定の条件に当てはまる情報が更新されたり追加されたりしたことを容易に把握することができる。

【0098】さらに、ビジターが行った操作履歴が情報活用帳に自動的に整理されるため、長時間かけて大量の情報を検索しその間に企業に対して行った資料請求や説明会の予約や切符の予約等を行った場合にこれらの履歴をいちいちノートに書き留めたりしておく必要もない。

【0100】そして、ビジターに情報活用帳を提供する本発明の情報サービス装置の機能は、インターネットWWWで提供される他の様々な情報サービスにおける応用が考えられ、インターネットWWWを用いた情報活用ニーズを飛躍的に促進する可能性を秘めた価値ある発明であると言うことができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例による情報サービス装置の 概略構成とシステム構成を示す図である。

【図2】同上実施例におけるホームページ(表紙画面) を示す図である。 16

\*【図3】同上実施例における企業情報検索画面の上方寄 りの部分を示す図である。

【図4】同上実施例における企業情報検索画面の中程の 部分を示す図である。

【図5】同上実施例における企業情報検索画面の下方寄 りの部分を示す図である。

【図6】同上実施例における企業一覧画面を示す図である。

【図7】同上実施例における企業情報画面を示す図である。

【図8】同上実施例におけるアクセスフォーマット画面の上方寄りの部分を示す図である。

【図9】同上実施例におけるアクセスフォーマット画面の中程の部分を示す図である。

【図10】同上実施例におけるアクセスフォーマット画面の下方寄りの部分を示す図である。

【図11】同上実施例における説明会情報画面の上方寄 りの部分を示す図である。

【図12】同上実施例における説明会情報画面の下方寄 りの部分を示す図である。

【図13】同上実施例における就職手帳メニュー画面を示す図である。

【図14】同上実施例における交渉メッセージ一覧画面 を示す図である。

【図15】同上実施例における交渉メッセージ内容確認 画面を示す図である。

【図16】同上実施例における志望企業一覧画面を示す 図である。

【図17】同上実施例における説明会予約履歴画面を示す図である。

【図18】同上実施例における検索条件予約一覧画面を 示す図である。

【図19】同上実施例における検索条件確認画面を示す 図である。

#### 【符号の説明】

S サーバマシン

C 端末

100 就職手帳データベース

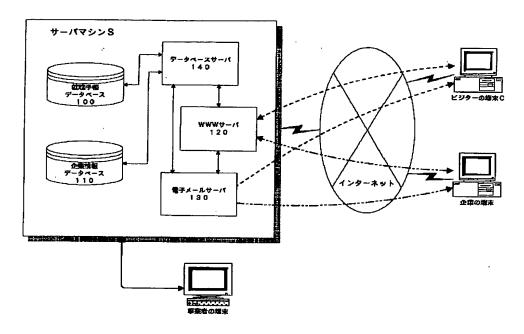
110 企業情報データベース

40 120 WWWサーバ

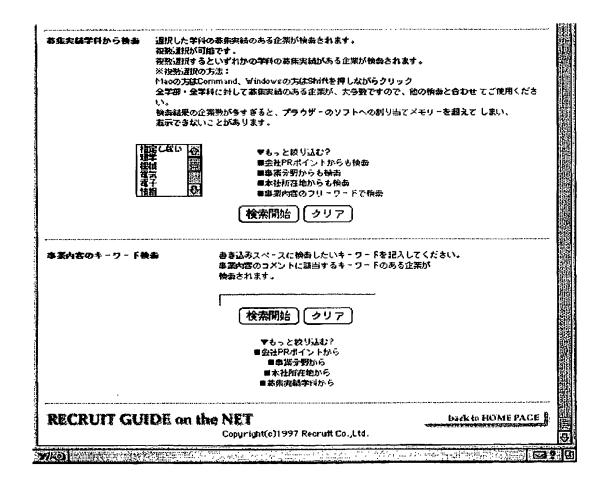
130 電子メールサーバ

140 データベースサーバ

#### 図1]



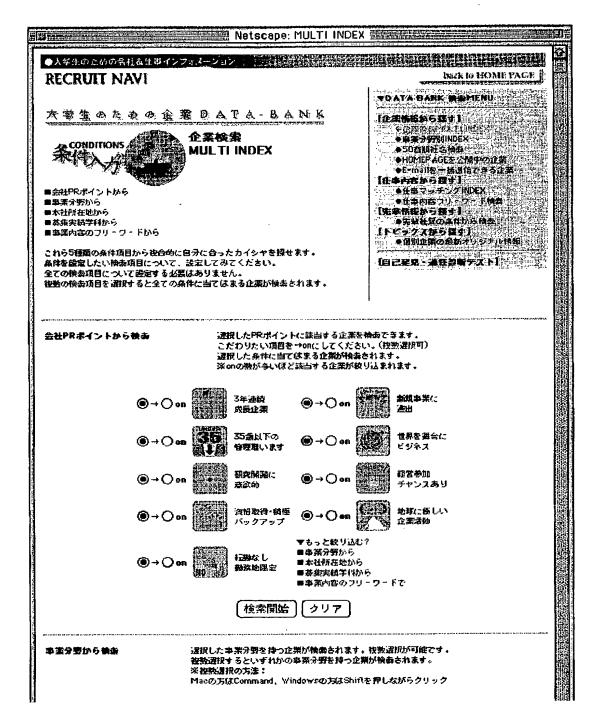
【図5】



#### 【図2】



#### 【図3】



# [図4]

料案分野から快歩	被整選択するといずれかの事業 ※複数選択の方法:	バ快毒されます。物勢。遅択が可能です。 #分野を持つ企業が快毒されます。 ♥sの方はShiftを押しながらクリック	
沙沙	・食品	▼もっと飲り込む? ■会社PRポイントから ■本社研究地から ■募集実験学科から ■本業内容のフリーサードで	
	検索開始 (	<b>クリア</b>	
<b>ド社議在地から映</b> 春	)選携した砂点水管に <b>不住</b> のある	企業が検急されます。(神勢選択が可	□ <b>比氧</b> 值
			☐ ## ☐ ## ☐ #≠
		口和门	
	山口 【】島根 【】島取		9 <b>  1 818</b>   16末
		京都 🗌 淺賀 🔲 俊阜 🔲 山道	및 □ 埼玉 □ 注帳
日 後短 日 福田 日	ACMANA MARKANA A PARAMANA A PARAM	WWW.W.C. WARRANTON AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN	千葉
□ 長崎   □ 熊木   □ : □ 創紀島 □ 沖縄		□ 和来山	神奈川   一・・・・
	【検索開始】[	<b>クリア</b>	
	▼もっと終り ■会社PRボイ		
	■事態分野	ltrö	
·	■ 恭集実績学 ■ 事業内容のフリ		
et en gestelle fan en de skriver oan de skriver oa	No. 2011 (2011) (2011)	constitution of the consti	
業会実績学科から検索	選択した学科の茶集実績のある企業が検 複数選択が可能です。 複数選択するといずれかの学科の茶集実 ※複数選択の方法:		
	Macの方はCommand、Windowsの方は 全学部・全学科に対して募集実績のある い。		合わせ てご使用くださ
	検索結果の企業数が今すぎると、プラウ 素量できないことがあります。	ザーのソフトへの割り当てメモリーを	超えて しまい、

## 【図6】

大岩雀のための金薯 PATA-B	社名をクリックすると各社の企業情報が確認できま , す。
▼男なたの総治した項目 5年連続原長企業 35歳以下の管理職います 研究開発に監合的/水産・食品	E-mailマーク (国) かある企業はE-mailを利用してア クセスすることが可能です。 ちらに、社会の前にチェックボックス「ロ」のある企業は、一度にまとめ てE-mailを送ることができます。 ※E-email
東京 社会学系	
ENTE ACTION NOTICE AND ACTION OF THE CONTRACTOR OF SECULIAR SECULI	CEES OF THE MICHIGAN CO. ATC.
この条件を自分のリクナビ新電手帳に登録する。  ※E-mailを一括送信する場合は、まず各主集の情報を確認して 「一括送信用E-emailフォーマットへ」のボタンを押してくだと  殊式会社リーダー最子 (ソフトウェアノ情報起煙)	「ID パスワード たから、E-mallを送りたい企業のチェックボックスをチェックし、
※E-mailを一括点信する場合は、まず各主業の報報を整窓して 【一括送信用E-emailフォーマットへ】のボタンを押してくだと 株式会社リーダーモ子	「ID パスワード たから、E-mailを送りたい企業のチェックボックスをチェックし、
※E-mailを一括透信する場合は、まず各主葉の情報を整察して [一括透信用E-omailフォーマットへ かポタンを押してくださ 株式会社リーダーモデ (ソフトウェア/信用処理)	「ID パスワード たから、E-mailを送りたい企業のチェックボックスをチェックし、
※E-mailを一括透信する場合は、まず各注集の情報を確認して 「一括送信用E-emailフォーマットへ」のボタンを押してくださ 株式会社リーダー モー 「ソフトウェア/情報処理」 株式会社リーダー モー ・ソフトウェア/情報処理」	「ID パスワード たから、E-mailを送りたい企業のチェックボックスをチェックし、

#### 【図7】



# 【図8】

BULL STATE OF THE
RECRUIT GUIDE on the NET
<sup>リクル-ト</sup> <b>森式会社 リクルート</b>
電子メール送信:入力画面
■注意 教守は半角、カタカナは全角でご記入ください。 WYWブラウザの母類によっては、フィール下に日本語を入力できないことがあります。 (日本語の入力が配組な場合は、アルファベットで入力してください)
DD 乾燥を幅:会見登録している人はDを単角質数字で記入してください
PASSYARD 就理手帳に会見登録している人体パスワードを平角英勲事で記入してください
<b>兵名 兵名の根</b> は(フリガナも)兵と名の間を1スペース空けてください
フリガナ 全角カタカナ Email Address (入力必須) 物物人で共有しているアドレスは不可
要住所 - 整使金号(半角でご記入ください。例: 104)
- 電話会号(市外局会から半角でご記入ください。例:01~234~5678)
・現住所(金角25文字以内) (アパートやマンションの各株・番号)(全角25文字以内)
· <b>电</b> 在所免
####################################
(資件部と異なるものかける)

# 【図9】

<b>体心中の注紙法(現住所と同じ場合</b> 体右にチェックして下さい・・ □ )	6
(現住所と異なる方のみ記入)	
- 郵便監号(半角でご記入ください。例:104)	6
・電話参号(用外局参加ら半角でご記入ください。例:01-234-5678)	
・住所(全角25文字以内)	
(アパートやマンションの名称・各号) (全角25文字以内)	TANK THE
· 連絡海県	3
学権名(正式名称をご記入ください。 例:日本大学)	
FWE (EXSIDE EXTENSES)	
○大学院 ⑥大学 ○巨大 ○中間を創学的 ○本権 ○その他	
○文系 ○理系 ⑥その他	
学書・学科(下記のなかから最も近いものを選んだ後、正式名称をご記入ください)	a de la companya de l
· 华纳分野	
	e e
・正式学師名     ・正式学科名       学科     学科	
<b>■連明</b> 会スケジュ <i>ール</i>	
あなたが手腕を承望する枠の2ケタのコードを入力してください	
(平角でご記入ください)	
01 5/23(金)13時~ 当社木社 02 5/23(金)13時~ 当社大阪文社	
03 5/27(火)13時~ 当社本社	
04 5/27(火)13時~ 当社大阪克祉 05 5/30(金)13時~ 当社木社	
06 5/30(金)13時~ 当社大阪支社	
07 6/3 (火)13時~ 当社本社	2 2
08 6/3 (火)13時~ 当社大阪友社	[3

【図10】

李彦・李詩(下記のなかから最も近いものを追んだ後、正式名称をご記入ください) ・学部  ・	
- 正式学部名 - 正式学科名 学科	
国歌唱会スケザュール   あなたが参加を単位する枠の2ケクのコードを入力してください (平面でご記入ください)   01 5/23(金)13時~   当社大社   5/27(火)13時~   当社大班安社   当社大班安社   当社大班安社   当社大班安社   当社大班安社   5/27(火)13時~   当社大班安社   5/27(火)13時~   当社大班安社   5/30(金)13時~   当社大阪支社   5/30(金)13時~   当社大阪支社   5/30(全)13時~   当社大阪支社   5/30(火)13時~   当社大阪支社   3/41(坂)313時~   当社大阪支社   5/30(火)13時~   5/30(火)13年~   5/30(火)13時~   5/30(火)13年~   5/30(火)13年	
20 6/25(水)13時~ 協社中部事業所 ※部曲法的の西語を参照	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
RECRUIT GUIDE on the NET  Coouright(s) 1997 Recruit Co. Ltd.	buskto HOME PAGE )

# 【図11】

会議は明立・エントリー協能 会計3時間 会用5日・12日・19日・26日 ア月3日・10日・17日・24日・31日 8月2日・14日・21日・28日 9月4日・11日・18日・25日 2月4日・11日・18日・25日 全地大社全事業 用M/1830〜 説明会参加ご希望の方は申前に下記書稿を表でご連絡を記し、 ・連絡版 第135 東京村江田区佐田・3-7イト・ビア本代ビルタ (アルソ 05-3920-7489) ・ 185 東京村江田区佐田・3-7イト・ビア本代ビルタ (アルソ 05-3920-7489) ・ 185 東京村江田区佐田・3-7イト・ビア本代ビルタ ・ 185 東京村江田 日本・185 日本・1	<sup>そょう</sup> ・dラ <b>は式会社</b> カモ	メ商事
金が田崎	の企画のHUME	PAGEA
● 四子・ 文本会社良明会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	と選データ 【録用号	タ 銀唱会・エントリーデータ
は できます できます できまり できます できます できます できます できます できます できます できます		● 関拓・大工学会社会財明会 6月5日・12日・19日・26日 7月3日・10日・17日・24日・31日 8月7日・14日・21日・28日 9月4日・11日・18日・25日 生間水社全国宝 同M/1830〜 部別会参加ご希望の市は申前に下記は掲集までごは終すさい。 ・連結成 135 東京和江田区住日・3・7イト・ピア水代ビルタ (株計) の計2年20・7488 伏本が 03・3820・7488 伏本が 03・3820・7488 ゲ東州 岩閣 総外 海田 37生 *東西 東下鉄和西部門的体助映役を7分 *全社結構は関連教育けます。 ・プライクェア業界及が会社情報を中止にご説明します。 東京で最近後の10年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3
		定本着争時の場合は事前に連接させていただきます。
<b>神味でアクセス方面</b> 社への資料請求については、ハガキ・E-mail・リクルートダイヤルのいずれかでお願いします。		- 17 〒104-01人事部0120-269999(フリーダイヤル)
社への姿料請求については、ハガキ・E-mail・リクルートダイヤルのいずれかでお願いします。 連起先		スナンバーは

## 【図12】

i i i i	Netscape: CORP-1	
	00 70 20 20 20 70 00 10 THE THE	И
	## 1	
	(5) (5) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	
	AND CONTROL OF THE PARTY OF THE	
:	の場合を含むない。 のは、対象のは、ないでは、対象のでは、   **********************************	
;	は、	
•	●連発を 対象報告 対象報告 対象報告 対象報告 対象報告 ・通知を 対象報告 ・通知を 対象報告 ・通知を 対象報告 ・通知を 対象報告 ・通知を 対象報告 ・通知を が過知を が過れを が が が が が が が が が が が が が	
,	P当社に制心のある方は、専用リクル・トダイヤルをご利用いただけます。 リクル - トダイヤルは03-3532-5900です。	
	当社のアクセスナンバーは 00182	
•	<b>●電子×-ルによるアクセスは、こちらへ</b>	
	資料請求フォー マットへ	
	説明金予約フォー マットへ	
	<b>▶この企業を自分の志望企業一覧に追加する(会員専題)</b>	
	自分の志望企業一覧に追加	
•	RECRUIT GUIDE on the NET  Dock to FROME PACK TO A CONTROL OF THE PACK T	
T		5-8

【図13】

	Manager Netscape: 予約した検索条件の確認	
	SELECT MENU	
	登録しているあなたの個人情報を変更する	
	あなたに届いた企業からのメッセージを見る	
	あなたの志卑企業の最新情報を確認する	
	説明会の予約状況を確認する	
	<b>予約している検索条件で検索する</b>	
THE REST OF THE PARTY OF THE PA		

【図14】

をタ	クリックす イトルをク	ると、各社の企業 リックすると、 <b>2</b>	関概要画面を見ることができます。 5なたに届いたメッセージを見ること	こができます。	
***************************************	<b>.</b> \$68	118	DM3111		
}	3/15	上野産業	説明会のお知らせ	要返信	未統
	3/15	三枚工業	メーカー志望の方へ		未執
	3/1	土橋不動産	会社説明会のお知らせ	基返信	未読
	2/28	山本商事	曲社志望の方へ		
Ì	2/25	三浦工業	メーカ・志望の方へ	五流信	
-	2/28	山木商事	<b>由社志望の</b> 方へ		7.31

#### 【図15】

#### DM内容確認

#### 上野産業

#### 「会社説明会のお知らせ」

東京大学工学部在学中の89一部が、半導体チップ内に時限機能を取り入れる技術を発明し、特許 取得したのが1978年の来。以来、大手半導体メーカーの支援を退け、独自資本によるベンチャー 企業として出発した(株)カモメは、1987年には、電子マネー技術に強い(株)ABCコーポレーションと業務提携し、売上高1000億を突破し、創業依頼2ケタ成長を続けています。

その(株)カモメが、新しいインターネットバンキングの世界で主導権を握っていくため、文系・理系を問わず、広く最新のコミュニケーション技術に興味を持つ学生の皆さんを対象に、会社説明会を開催します。

学院や安定書向にとらわれず、ベンチャー精神を大いに発揮したい方は、是非このチャンスを逃さず、ご参加ください!!

#### 【会社説明会情報】

#### ■東 芹

- · 日 程 (1)平成10年6月17日 (水) 10:00~ (2)平成10年6月21日 (日) 10:00~
- 場所 東京都中央区銀座8-4-17 カモメ銀座ビル東館5階
- ・交 通 地下鉄銭廃締もしくはJR山の手続・新橋駅下車 銀座方面出口徒歩1分

#### ■大 阪

- · 日 程 平成10年6月28日(日)10:00~
- ・場 所 大阪市北区相田1-12-12 相田カモメビル8階

【図16】

,	annana annana i salah da sebah sa	n er en er 22 August Abrilla beskrift bildt seiter	山田太郎さん あ望企業一		SPANIS ALA ANA SESSE	
社名 説明	をクリックす 会情報最新更	ると、各社の企業 新日をクリックす	御裏画面を見るこ。 ると、各社の最新の	とができます。 の説明会情報を	見ることが	できます。
	姓名	山田さんが 企業情報を チェックした日	メールエントリー フォーマット 使用可能	メール フォ・マット でアクセス	誤明金 情報最新 更新日	メールフォー マットでの 説明会中込
	上野産業	2/1	有	28	2/7	**
	三枚工業	2/1	有	油	3/1	済
	土桶不動產	2/3	有	**	3/15	済
	三葉麻李	2/8	有	28	3/2	
	三和銀行	2/9	有		4/1	
	宿士銀行	2/11	\$		3/25	
	往友抵行	2/15	有	<b>78</b>	4/15	
	住友商事	2/21			3/10	
	山本商事	2/23	有		3/12	
	n n	なたの登録情報	紫 <b>種」の</b> 参考にして まこちら	ください。	and the state of t	- Constitution of the second
		#19812#				
		#	88	11 <b>93</b>	]	
}		金融		3 <b>2±</b>		
		存社		2社	-	
		メーカ・		2社		
		不動產		1社		
	-	1	すると、その類種の			<b>2</b>

【図17】

	g og gyptioner get tagende from taget from	annual to the second second second	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	説明会予:	約履歴		
	現在の説明会申込社数 10社						
	社名をクリックすると、各社の企業根裏画面を見ることができます。						
	į	解催日	曜日	社会	i .	説明会の説明	
		2/15	(月)	上野產業	11:00~	東京本社6F	
		2/16	(火)	三牧工第	10:30~	大阪〇〇ホテル	
		2/20	(ok)	土橋不動産	13:00~	機選索社3F	
		2/22	(月)	山本窟事	11:00~	東京本社11F大ホール	
世際信ロが一覧		2/22	(月)	三浦工業	14;00~	東京本社4F応接	
5 门名牌团		2/22	(月)	三类组行	10:30~	東京本社35大ホール	
SCHOOL STATES		3/12	( <b>*</b> )	作式会社小笠原	9:30~	大阪党社会議室	
志切合業一覧		3/15	(月)	土橋不動産	11:00~		
第四条至为超强 第四条至为超强	一覧か	4/3	l.vv	和田システム Fェックした上で下の	ボタンをクリック	東京眼座〇〇ホテル	
5000000000000000000000000000000000000	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の		The state of the s	
3000000000000000000000000000000000000	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
2003年3月20日2日 200会子的版范 200会子的版范	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
2001年	<b>-95</b> b		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
2000年 初会予的版語	— <del>98</del> b		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
9000000000000000000000000000000000000	— <b>完</b> か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
9000000000000000000000000000000000000	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
2000年 初会予的版語	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
1994 7 竹直至	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
1994 7 竹直至	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
1994 子为底至 1994 子为底至	一覧か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
9900000000000000000000000000000000000	<b>一覧</b> か		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	
9000000000000000000000000000000000000	<b>一覧か</b>		l.vv	Fェックした上で下の	ボタンをクリック	The state of the s	

【図18】

	翼 Netscape: Untitled	Document	
	検索:	条件予約一覽	
	□ 01 全機関係 1 □ 02 全機関係 2 □ 03 個社関係 1 □ 04 郵社関係 1		
HINTER CONTROL OF THE	□ 05 ホームペーシ	; ry,	
和开始代码M一度 4 均分移列 MACCASSESSESSESSES		塩オプション 月 日	
主卫企業一類 1872年18月2日 - 1872年18月2日 - 1872年1	上記の日付以降(c のみ検索	おもが開始された会社情報	
			, ,
			:

### 【図19】

設定された検索条件 PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	設定された検索条件  PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融  本社所在地 東京 神奈川 大阪	を定された検索条件 PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融  本社所在地 東京 神卒川 大阪	設定された検索条件 PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融  本社所在地 東京 神奈川 大阪	設定された検索条件 PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<sub>登録名</sub> : 金融関係 2	
PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪  本集実結学科	PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	PRマーク 世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	Am-0 - Industry	
世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	世界を相手にビジネス  業種 金融  本社所在地 東京 神奈川 大阪	世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	世界を相手にビジネス  業種 金融  本社所在地 東京 神奈川 大阪  本集実践学科	世界を相手にビジネス 業種 金融 本社所在地 東京 神奈川 大阪	設定された検索条件	
<ul><li>業種</li><li>金融</li><li>本社所在地</li><li>東京</li><li>神奈川</li><li>大阪</li></ul> 株実科学科	<ul><li>素種</li><li>金融</li><li>本社所在地</li><li>東京</li><li>神奈川</li><li>大阪</li></ul> 本集実結学科	#44	<ul><li>業種</li><li>金融</li><li>本社所在地</li><li>東京</li><li>神奈川</li><li>大阪</li></ul> 株集実科学科	<ul><li>業種</li><li>金融</li><li>本社所在地</li><li>東京</li><li>神奈川</li><li>大阪</li></ul> 本集実結学科	PRマ-ク	
全性 本社所在地 東京 神卒川 大阪  本集実結学科	金融  本社所在地  東京  神卒川  大阪   本集実結学科	金融  本社所在地  東京  神卒川  大阪  恭集実結学科	全性 本社所在地 東京 神卒川 大阪	金融  本社所在地  東京  神卒川  大阪  恭集実結学科	世界を相手にビジネス	
本社所在地 東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	本社所在地 東京 神卒川 大阪 本集実結学科	本社所在地 東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	本社所在地 東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	本社所在地 東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	<b>業</b> 母 · · ·	CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR OF THE THE CASE OF THE CA
東京 神卒川 大阪 恭集実績学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	金融	
東京 神卒川 大阪 恭集実績学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	東京 神卒川 大阪 恭集実結学科	本社所在地	gang an managan an managan managan managan kan managan managan managan managan managan managan managan managan
大阪 恭集実 <b>科学</b> 科	大阪 <del>林集実結学</del> 科	大阪 恭集実 <b>結学</b> 科	大阪 蘇集実 <b>科学</b> 科	大阪 恭集実 <b>結学</b> 科	process and the second contract of the second	
<b>恭集実料学</b> 科	<b>恭集実料学</b> 科	<b>恭集実践学</b> 科	<b>泰集实料学</b> 科	基集実 <b>科学</b> 科	神卒川	MANAGEM B. MANAGEM POWER CO.
ENGINEER OF THE PROPERTY OF TH	TO SERVICE AND ADDRESS OF THE PROPERTY OF THE	Extraction and additional deviation of the contraction of the contract	The state of the s	TO COLUMN THE WAY OF T	大阪	
<b>法</b> 学系	<b>法学系</b>	<b>法学系</b>	法学系	法学系	<b>泰集実料学科</b>	
And the second s					法学系	

フロントページの続き

(72)発明者 吉田 克己東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リクルート内

(72)発明者 渡瀬 一郎東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リクルート内

(72)発明者 牧口 泰介

東京都中央区銀座8-4-17 株式会社リ

クルート内